

新規事業採択時評価結果（平成19年度新規事業化箇所）

担当課：道路局 国道・防災課
担当課長名：木村 昌司

事業の概要

事業名	一般国道424号 滝頭拡幅	事業区分	一般国道	事業主体	和歌山県
起終点	起点 和歌山県日高郡日高川町初湯川 終点 和歌山県日高郡日高川町熊野川	延長	L = 3.5 km		
事業概要	<p>一般国道424号は、和歌山県田辺市を起点とし、和歌山県紀ノ川市に至る延長約116kmの幹線道路であり、県内の交流促進、連携強化、また、地域間を連結する生活道路として重要な路線である。</p> <p>国道42号の代替道路である第二県土軸及び緊急輸送道路として位置づけられる国道424号の未整備区間となっている当該区間において、線形不良、幅員狭小区間の解消を図り、地域住民の生活の利便性の向上、観光・産業道路として地域振興に寄与するものである。</p>				
事業の目的、必要性	<ul style="list-style-type: none"> 第二県土軸の整備（第二県土軸の未改良区間で唯一の未着手区間） 緊急輸送道路であることから、防災機能の強化 線形不良、幅員狭小区間の解消 				
全体事業費	23億円	計画交通量	2,726台/日		
事業概要図					

関係する地方公共団体等の意見
第二県土軸における未改良区間で唯一の未着手区間の整備を早急に行いたい。また、当該区間は、早期整備に関し、国道424号美山・金屋間改良促進協議会において、本省要望を毎年行っている。（1回/年）

事業採択の前提条件
費用対便益：便益が費用を上回っている。

事業評価結果

費用対便益	B/C	1.5	総費用：23億円 （事業費：19億円 維持管理費：4億円）	総便益：36億円 （走行時間短縮便益：33億円 走行費用減少便益：2億円 交通事故減少便益：1億円）	基準年 平成19年	
	感度分析の結果	交通量変動	B/C=1.53（交通量-10%）	B/C=1.68（交通量+10%）		
		事業費変動	B/C=1.69（事業費-10%）	B/C=1.43（事業費+10%）		
	事業期間変動	B/C=1.50（事業期間-2年）	B/C=1.60（事業期間+2年）			
事業の影響	評価項目	評価	根拠			
	自動車や歩行者への影響	渋滞対策	-	<p>特記すべき事故や渋滞は発生していない。</p> <p>【渋滞損失時間の改善】 【1kmあたり（台kmあたり）渋滞損失時間】約2.6万人時間/年km 和歌山県平均：約15.8万人時間/年km 全国平均：約20.2万人時間/年km</p> <p>【渋滞度曲線】 【その他の特徴】</p> <p style="text-align: right;">データは県内平均・全国平均と比較すること</p>		
		事故対策	-	<p>事業実施により当該区間の歩車分離をはかる。</p> <p>【死傷事故率】約41.4件/億台キロ（死傷事故率比（県内平均比）） 和歌山県平均：約113.1件/億台キロ（事故率曲線における位置） 全国平均：約120.0件/億台キロ</p> <p>【その他の特徴】自動車の道線分離が図られる。</p> <p style="text-align: right;">データは県内平均・全国平均と比較すること</p>		
	歩行空間		歩道を備えた幅員構成とし、歩行者と車両通行空間を分離する。			
	社会全体への影響	住民生活		バス路線であり、利便性が向上する。		
		地域経済		県内主要都市の交流促進、連携強化。		
		災害		緊急輸送道路に指定されていることから、大規模地震時のライフラインを確保する。		
環境			道路整備により、CO2・NO2・SPM排出量が削減される。			
地域社会		世界遺産登録地へのアクセス性向上。 主要な観光地：田辺市本宮町の観光客数約150万人（H17）				
事業実施環境		県内の主要都市間、各地域間の交流・連携を強化するための第二県土軸における、最後の未着手・未改良区間である。				

採択の理由

・費用対便益比が1.55と便益が費用を上回っており、事業採択の前提条件が確認できる。
・第二県土軸における未改良区間で唯一に未着手区間である。
・緊急輸送道路として早急に整備が必要である。
など、当該道路の必要性、整備効果は高いと判断できる。

以上より、本事業を採択した。

総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。